

提案

縮減社会における「奥三河モデル」の構築



一般社団法人奥三河ビジョンフォーラム
専務理事 田村太一

【提案】（一社）奥三河観光協議会の活性化

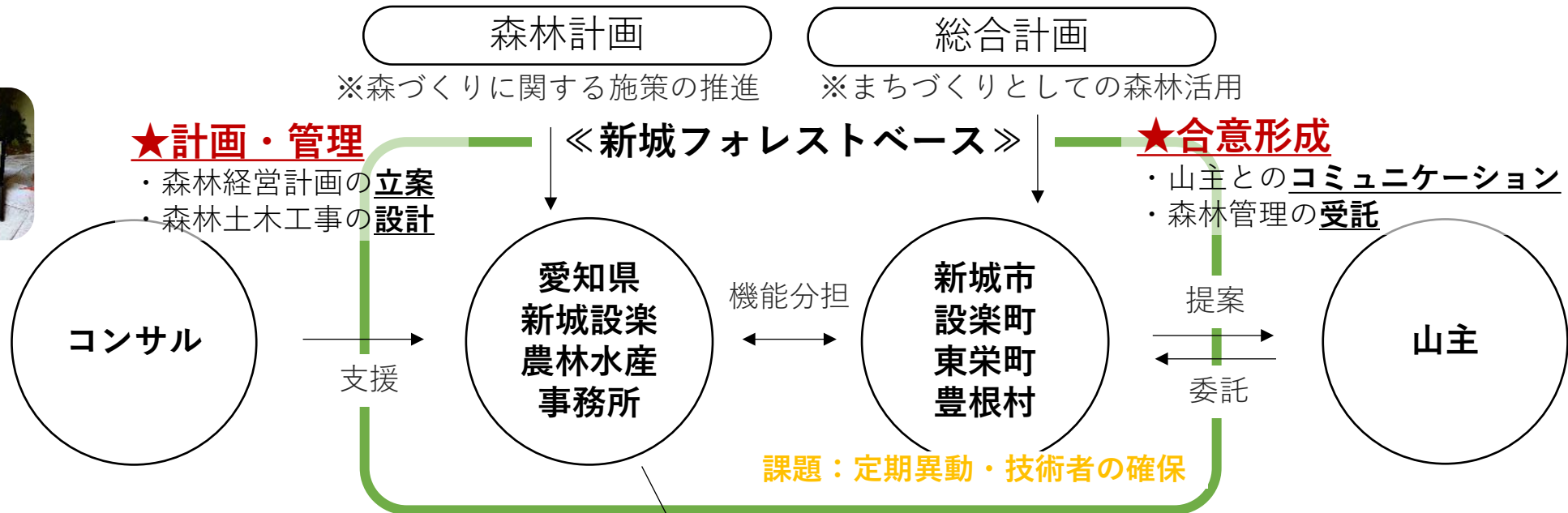
～奥三河観光ハブステーションと観光地域づくり法人（DMO）としての役割～





【提案】 新城森林総合センター（新城フォレストベース）の機能拡充

～愛知県新城設楽農林水産事務所と奥三河各市町村による林務行政の効果的な役割分担～



≪先進地事例 - 官民の機能分担≫

ドイツ・バイエルン州ノイブルグ

◆Studienseminar Neuburg (財団所有林)

面積：820ha
 体制：森林官1名+ (外注) 作業員3名
 樹種：トウヒ53%+ブナ23%+松11%ほか
 施業：チェーンソー+ハーヴェスタ
 伐採：9000m³/年
 特記：森林からの収益にて学校運営を支援



森林官（フォレスター）の言葉

- 森林管理は50年後、100年後にならなければ正解が分からない
- 森林に関する「知識」だけでなく「哲学」が必要
- 中長期的な施策立案と実行管理ができる専門職員（フォレスター）が必要

発注

★施業

- 効率的な施業システムの確立
- 人材確保、人材育成の推進



民間事業者

課題：人材不足・外国人材の活用
 (林業分野における特定技能制度の運用開始 2024.6～)

◎新城総合センターとは

愛知県新城設楽農林水産事務所新城林務課と新城市産業振興部森林課は「東三河県庁」と地元市町村との協働事業の一つとして、2012年度から新城市鳳来総合支所内に設置された「新城森林総合センター」（愛称：新城フォレストベース）において、ワンフロアで一体的に業務を行っています。

(出典) 愛知県林務課ホームページ

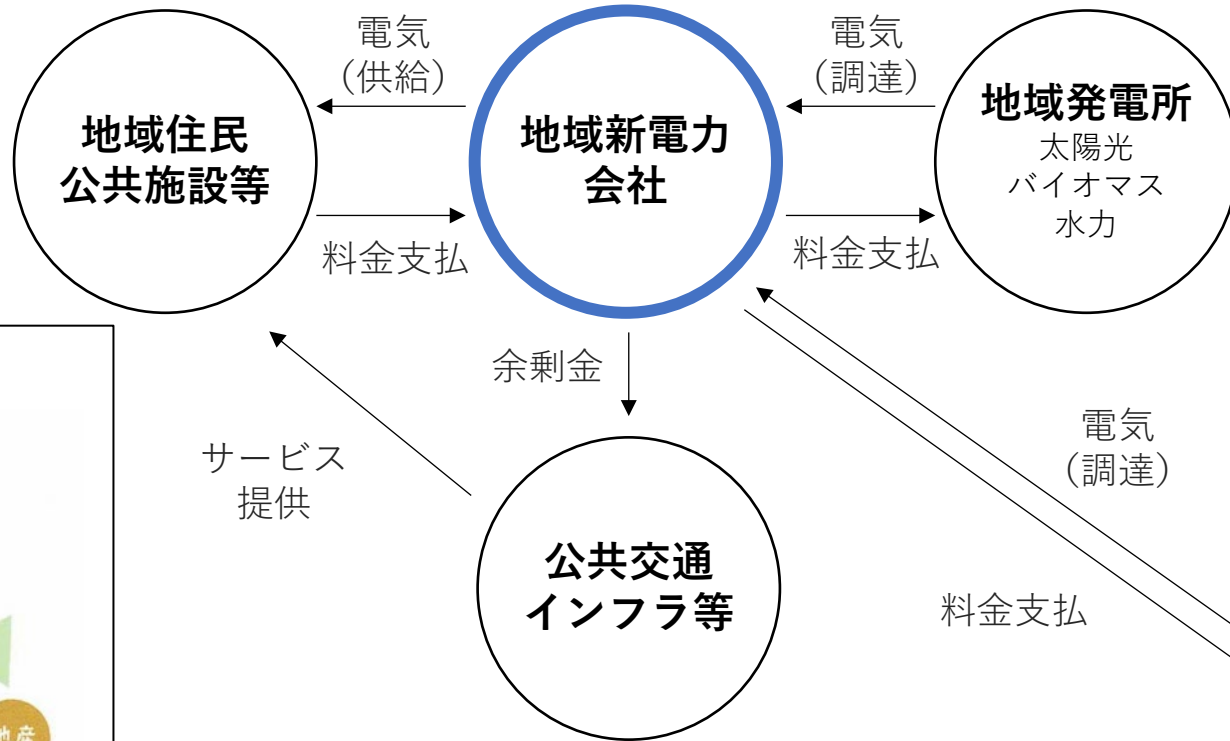
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/rinmu/20200616.html>



【提案】 奥三河地域新電力会社の創立

～エネルギーと経済の地域内循環の推進～

《エネルギーと経済の地域内循環》



《先進地事例》

飯田まちづくり電力株式会社

地域のエネルギーを使って、域外へ流出していた費用を減らし、収益を地域へ還元します。

地域の自然エネルギーの利用 **使う**

飯田下伊那 地産エネルギーを地域で使う **地産**

地域のために役立つ (利益の一部を還元) **役立つ**

電気料金 **電気料金**

※出典：飯田まちづくり電力パンフレットより

地域内で発電した電気を地域内で使用することにより、エネルギーと経済の地域内循環が生まれる。地域内の資源・資金の地域外流出を防ぐことで、地域が豊かになる。

ダム放流水を利用した水力発電 (設楽ダム)

- 国土交通省が建設を進める設楽ダム (2034年度完成予定) で、設楽町がダム完成後の地域振興への利活用を目的として、利水放流水を利用した水力発電事業の事業化を検討中。
- 2024年度は、国と県の支援のもと設楽町において水力発電施設の設計を実施。

【再エネ】1-2 水インフラ空間における水力発電施設の設置

スケジュール (暫定)

	2023年度	2024年度	2025年度以降
水力発電の基本計画	完了	完了	完了
水力発電施設の設計	完了	完了	完了
水力発電施設の設置			完了

※設楽ダム建設事業への事業計画手続きが別途必要

※2024.3.29 矢作川・豊川CN推進協議会 資料3 より



地域外 電力供給所

中部電力 電力市場

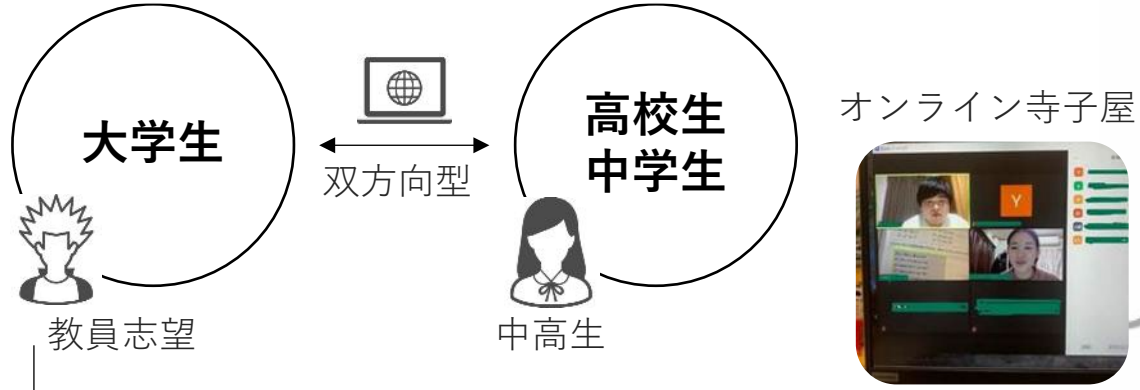
人材

【提案】奥三河オンラインスクール構想

～小規模学校における教育環境のイノベーションと大学との連携促進～

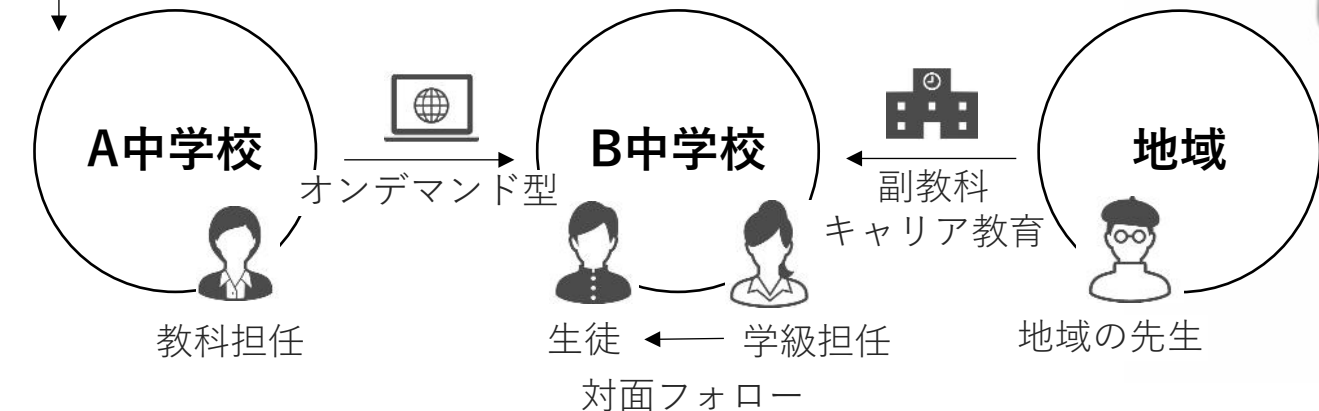
★オンライン寺子屋（豊根村）の普遍化

- ・ 学習機関空白地域での行政による **学習機会** の提供
- ・ 教員志望の学生によるオンライン型 **インターンシップ** の制度化



★オンライン授業の導入

- ・ 教科担任制と学級担任制の **併用**
- ・ 授業の **均質化** と学級担任による生徒の **フォローアップ**



課題：初任での学級担任への不安

課題：学習塾が少ない又は無い

課題：人口減少に伴う教員不足

